

JFEシビル

「二重鋼管ダンパー」

橋梁の耐震補強に適用

「NETIS」に登録

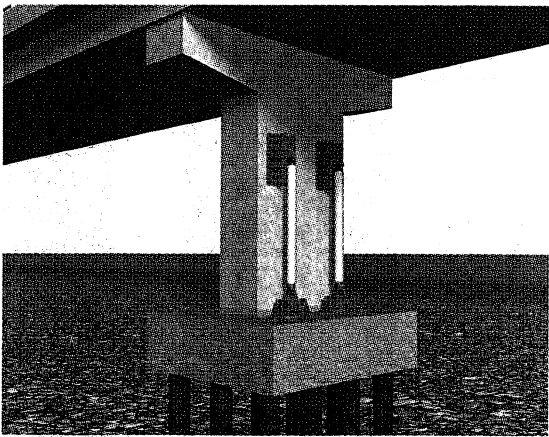
JFEシビル(社長・藤井善英氏)はこのほど、建築向けに販売している二重鋼管座屈補剛ブレースをRC橋梁の耐震補強に適用し、「二重鋼管ダンパー」として国土交通省の

新技術情報提供システム(NETIS)に登録を完了したと発表した。早稲田大学と共同研究を行った工法で、従来のRC巻立て

工法に比べ約45%のコストダウンが見込まれるほか工期も約14%低減できる。今回の登録を機に「橋脚ダンパー」として本格的に拡販を進めていく方針。

制震用軸力材。建築分野などで約5万本の販売実績を有する。

「橋脚ダンパー」は脚柱とフリーチング間にこれを設置し地震エネルギーを吸収。橋脚の変位を低減し損傷を軽減する。また、橋脚本体の保有水平耐力が低下した後もダンパーが支持力を発揮して軸力を保持し橋脚の倒壊を抑制する。これまで上部工と下部工の接続部に



「二重鋼管ダンパー」の設置イメージ

適用した実績が5件ある。